

令和7年度 第2回定例記者会見（説明内容）

【市議会定例会日程】〔資料1ページ〕

9月議会定例会は、会期を8月26日から9月19日までの25日間の予定で開催いたします。

【定例会提案議案】〔資料2～4ページ〕

本定例会に提出する案件は、補正予算案件が6件、条例案件が4件、財産案件が2件、専決処分の承認案件が1件、決算の認定案件が12件、諮問案件が1件の計26件であります。

さらに、報告案件といたしまして、令和6年度に終了した継続費の精算など、計7件を提出いたします。

【令和7年度9月補正予算（案）】

一般会計補正予算（第4号）は、6億8,768万5千円を追加し、補正後の総額を、392億6,454万4千円とするものであります。

特別会計は2会計の補正で、合計2億3,910万6千円を追加し、補正後の総額を200億2,510万6千円とするものであります。

なお、一般会計及び特別会計の今回補正額は、合計で9億2,679万1千円となっております。このほか、3事業の公営企業会計で補正をしております。

次に、債務負担行為の補正について、ご説明いたします。

一般会計において、生活困窮者等自立支援業務委託及び山田小学校スクールバス運行管理業務委託の契約がそれぞれ今年度末で終了となることから、新たに令和8年度から5年間の債務負担行為を設定するものであります。

【令和7年度9月補正予算（案）の概要】

「1. 循環バス運行事業」には、利用者の利便性向上を図るため、新たにICカード支払対応機器を導入する経費1,150万円を計上しました。

「2. 公的介護施設等整備費」には、非常用自家発電設備を設置するグループホーム2施設に対し、国の内示があったことから地域介護・福祉空間整備等補助金1,542万2千円を追加しました。

「3. 物価高騰対策介護サービス事業所支援事業」及び「4. 物価高騰対策障害福祉サービス事業所支援事業」には、物価高騰の影響を受ける介護サービス事業所、障害福祉サー

ビス事業所等の負担を軽減し、安定的なサービス提供体制の維持を図るため支援金を給付するもので、2事業合わせて1,675万円を計上しました。

「5. 保育運営委託事業」には、乳児等通園支援事業、通称「こども誰でも通園制度」が来年度から本格的に始まることから、事業が円滑に進められるよう、今年度試行的に実施するための補助金144万6千円など、合わせて530万8千円を計上しました。

「6. 民間保育施設等支援事業」には、物価高騰の影響を受ける保育所、幼稚園、認定こども園等の事業運営の負担を軽減するため支援金600万円を計上しました。

「7. 予防接種事業」には、接種者の負担軽減を図るため、予防接種法に基づく新型コロナウイルス予防接種を実施するための経費として、接種委託料など、862万7千円を追加しました。

「8. 道路橋りょう費」には、道路維持事業に1億4,341万円、道路新設改良事業に6,035万円を追加しました。なお、追加分の道路補修工事費及び道路改良工事費については、施行時期の平準化を図る観点から、繰越明許費を設定しております。

「9. 河川維持事業」には、河川の適正な維持管理に係る経費として、浚渫工事費など、合わせ1,132万5千円を追加しました。

「10. 地域防災対策事業」には、新たに香取特別支援学校と福祉避難所の協定を締結したことから、今後、避難所運営に必要な備品等を購入するための経費100万円を計上しました。

【予算案件以外の主な議案】

議案第7号「香取市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について」の案件は、子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い創設された、乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の設備及び運営に関する基準について、新たに条例を制定するものです。

議案第11号及び議案第12号「財産の取得について」の案件は、国のGIGAスクール構想の実現のため、令和2年度に小中学校に整備した児童・生徒1人1台端末の更新等をするものです。

議案第11号は児童・生徒用端末4,034台を購入するもので、株式会社内田(うちだ)洋行(ようこう) 営業支援統括グループと1億7,841万104円で、議案第12号は指導者

用端末 432 台を併せて購入するもので、同一業者と 2,233 万 7,251 円で、いずれも随意契約により物品売買契約を締結するものです。

【令和 6 年度決算の概要】

まず、一般会計の決算について、説明します。

予算現額408億3,900万円に対し、歳入決算額が403億2,700万円、歳出決算額が379億7,300万円で、歳入歳出差引額が、23億5,500万円となります。

そのうち、翌年度の繰越事業に充てる財源 1 億3,100万円を控除した実質収支額は、22億2,400万円の黒字という状況であります。

なお、実質収支額のうち11億2,000万円は、令和 7 年度に繰り越さず、財政調整基金に積み立てております。

歳入決算額は、前年度より14億5,400万円の増となっており、主な要因は、繰上償還の実施に伴い、減債基金を取り崩したことなどにより、繰入金が大きく増加したことによるものです。

歳出決算額も歳入と同様、前年度より14億2,600万円の増となっており、その主な要因は、繰上償還を実施したことなどによる公債費の増加や、国の定額減税補足給付金（調整給付）支給事業費の実施などによるものとなっています。

【担当課説明】

- ・「令和 7 年度香取市地域おこし協力隊の紹介」（企画政策課）
- ・「今年も開催！中学生議会～明るい未来に向け 政治を実体験！～（学校教育課）
- ・「第 17 回香取小江戸マラソン大会を開催します」（生涯学習課）

【参考資料】

主な行事予定（令和 7 年 9 月～11 月）

【その他】

- ・香取の逸品「【小見川名物】香湯ぎょうざ」

≪餡と食感のこだわり≫

①肉のこだわり

千葉県産銘柄豚「林 S P F 豚肉」を使用しています。安心安全の健康美容豚で、良質な飼料とストレスフリーの環境で育てられ、その豚肉は、柔らかく、脂が甘く、でもさっぱりとした味わいで、カルニチンなどの栄養も豊富です。

②米麴とマッシュルーム 新鮮野菜のこだわり

代表が厳選した地元農家の新鮮な野菜を使用しています。糀の発酵によって生まれる

深いコクとマッシュルーム特有の豊かな風味は料理に奥行きをもたらし、贅沢な味わいを実現しました。

③皮と餡のこだわり

パリッとした焼き餃子の秘訣は皮と餡にあります。食感と餡の素材を十分に味わっていただくために、皮を薄くしています。国産の小麦粉を選定し、独自の配合でブレンドし調整しています。また、餡に使用する野菜を絞り不要な水分を取り除き、肉汁があふれるパリッとジューシーな焼き餃子になっています。

④自社工場のこだわり

こだわり餃子の実現のために、自社工場を立ち上げました。香湯ぎょうぎを安心・安全にお届けできるよう日々の衛生管理を徹底しています。